

# あなたと議会



2016  
192号  
9月26日発行

## 特集 市内高等学校で 議会報告会・意見交換会を開催



市政を問う  
議会からあなたへ



第6回議場コンサート  
(アミーチ・オカリーナ)

## 議会報告会・意見交換会を

# 市内の4つの 高等学校で開催

「18歳選挙権」「住みたくなくなるまちづくり」をテーマに  
高校生と意見交換しました

### ●議会報告会・意見交換会とは

鹿沼市議会では、「議会基本条例」に基づき「開かれた議会」「行動する議会」を実現するために、平成24年度から市民の皆様との議会報告会・意見交換会を開催しています。また、ご意見やご要望をもとに市への政策提言や提案などを実施しています。

今年度は、第一段として、市内にある4つの高等学校にご協力いただき高校生を対象とした議会報告会・意見交換会を開催しました。今回は今年の参議院議員選挙から選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことに伴い、鹿沼市の未来を担う存在である高校生に、若いうちから政治に関心を持ち参画してもらうため、意見交換の機会を設けさせていただきました。

各会場では、高校生たちとの活発なやりとりが繰り広げられましたので、抜粋してご紹介します。



### ■18歳選挙権について

#### ○感想

- ・今まで選挙や政治に無関心だったので、急に選挙権年齢が18歳に引き下げられたから選挙に行けと言われても正直、戸惑っている。
- ・政治の知識がないので、間違った投票をしてしまうのではと心配。
- ・いきなり選挙権を渡されたので、親に言われたところで投票しても意味がないような気がする。
- ・投票率が下がってしまうのが心配。
- ・誰を選んで良いかわからないので、どうすれば調べられるのか。
- ・18歳以上に選挙権年齢を引き下げるのは賛成だが、急激な変化のような気がしてもう少し決まるまでの情報が欲しかった。
- ・若い人達の考えを政治に取り入れられるから良い。
- ・20代、30代の若い層の人にも、もっと関心を持ってほしい。
- ・政治は他人事と思っていたが、身近になった。
- ・政治に関心がなかったが、選挙権が得られることで関心が持てる。
- ・有権者として義務と責任を感じる。
- ・最初の1回は投票率が上がる





人口対策について伺う



市政を問う

第3回定例会で16人が登壇  
鹿沼市政について質問をしました。



**質問**  
東京圏から市内への定住促進について、鉄道の通勤・通学の対策と課題について伺う。  
**答 弁（総務部長）**  
**朝夕の発着時刻や所要時間に課題があり、定住対策の重要な要因と考えます。**  
現在、本市と東京圏は東武鉄道とJR東日本の2路線で結ばれています。主な利用形態は、東武線のみ利用、東武線とJR線の栗橋駅乗り換えによる利用、JR日光線と東北新幹線の宇都宮駅乗り継ぎによる利用があげられます。東武線では特急で浅草駅まで約90分、JR線では新

幹線乗り継ぎで東京駅まで約80分であり、鉄道環境は良好であると認識しています。  
しかし、東京圏を通勤通学圏とするには、朝夕の発着時刻と所要時間に課題があり、定住対策に取り組むには重要な要因であると考えています。  
東武線へは東京圏を通勤通学圏とする時刻設定と増便、そして平成29年4月から運行を計画している新型特急の通勤通学への利用に対する要望を、JR線へは新幹線乗り継ぎを考慮した日光線の最終列車繰り下げなどについて働きかけをしていきたいと考えています。



市有地の売却について伺う



質 問
産業文化会館跡地の売却について伺う。
答 弁 (財務部長)
公平性を期すため広く公募を受け付け、適正価格で売却します。
平成28年5月9日株式会社TKCより市有地の産業文化会館跡地にカスタマー・サポート・センターを立地したい旨の要望書が提出されました。市有地の売却は公平性を期す必要があるため、「新規雇用・にぎわい創出・地域経済への貢献など」を条件に広く公募を受け付け、不動産鑑定等に基づいた適正価格

で売却します。
市民等の駐車場の確保については、新たな駐車場として柳田跡地等の市有地の有効活用が図られるよう調整し、市職員については既存駐車場の有効活用や通勤距離などの利用条件の見直しを含めて検討していきます。また観光客については、各施設にある駐車場で必要数は確保されていると考えます。
事業者が決定した場合には、木のまち鹿沼の推進として、木造・木質化という部分で、CLTの利用も含め、鹿沼産認証材の利用を働きかけていきたいと考えています。



CLTとは
CLTとはCross Laminated Timber (クロス・ラミネーティッド・ティンバー)の略称で、ひき板を並べた層を、板の方向が層ごとに直交するように重ねて接着した大判のパネルを示す用語です。

「協働のまちづくり推進事業」について伺う



質 問
「地域総合振興型予算」の①具体的なか身②予算規模③地域への配分④各地区で取り組んでいるモデル事業との違いについて伺う。
答 弁 (市長)
地域が柔軟に取り組めるような内容、制度となるよう検討していきます。
①ですが、市民自治による地域づくりを応援するため、地域の夢を実現する地域主体の事業に対し活用することを目的としています。現在、事業の制度設計を進めており、地域が柔軟に取り組めるような内容、制度に

なるよう検討していきます。
②では、現在の市税収入のおおむね1%程度にあたる1億4千万円程度を考えています。
③については、地域から提案された内容を十分に見極め、弾力的に対応していきたいと考えています。
④については、組織体制のイメージはコミュニティ推進協議会のような組織単位とし、財政支援では全体を3階層に区分した補助制度を現在考えています。また、市職員のノウハウも活かしながら(仮称)地域担当職員として地域のサポート役を積極的に担ってもらうことを考えています。



胃がんリスク検診（ABC  
検診）について伺う



質 問

胃がんリスク検診の平成27年4月からの受診状況と成果について示せ。

答 弁（保健福祉部長）

胃がん検診の受診者数が増加し、進行がん1人が発見されています。

胃がんリスク検診とは、2種類の血液検査から胃がんのリスクを判定するものです。鹿沼市では平成27年度から検診を実施し、40歳から70歳の5歳刻み及び74歳の市民を対象にしています。昨年度の対象者は1万598人、受診者数は768人で受診率は7.2%でした。

国の指針で定められた胃がん検診（バリウムを使用してエックス線にて検査をするもの）に胃がんリスク検診をセットで受診することにより、胃がん検診受診者数が増加しました。

また、胃がんリスク検診で陽性となった人のうち73.8%の192人が精密検査を受診し、その結果、進行がん1人が発見されました。がんの早期発見には、がん検診の受診が非常に効果的です。

今後、胃がん検診と胃がんリスク検診をセットで推進し、市民のがん検診受診率の向上を図っていきたいと考えています。

市長の選挙公約について伺う



質 問

「子どもの遊び場」、「若者の集いの場」の整備について伺う。

答 弁（市長）

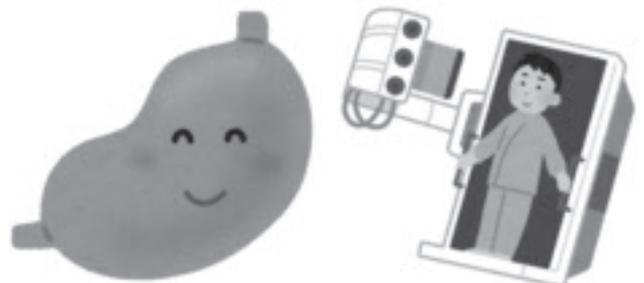
新年度予算編成時期に間に合うように整備方針を決定したいと考えています。

子どもの遊び場については、公園等の屋外型と雨の日でも遊べる屋内型が考えられます。栃木県内でも大田原市・足利市・矢板市・小山市が商業施設や空き施設を活用した屋内施設を整備しており、真岡市は運動公園に大型屋外施設をオープンしています。本市は、候補地や候補施設等を調査している最中であ

り、関係機関と連携を図りながら整備の規模や費用等様々な角度から検討しているところです。

若者の集いの場についても、引き続き住みたいと思えるよう、音楽や文化活動、軽スポーツに親しみ、若者自らがまちづくりの活動を行える施設にしたいと考えています。

どちらの施設も、規模や立地によっては整備期間や財源等も異なることから検討に期間を要しており、現時点では明確に答えるのが非常に困難です。しかし、新年度予算編成時期に間に合うように、スケジュールを含め、整備方針を決定したいと考えています。



島田 一衛 議員

森林認証の取得と今後の  
取り組みについて伺う



**質 問**  
オリンピック・パラリンピックの競技場等への鹿沼産森林認証材の使用及び森林認証材を生かす今後の取り組みについて伺う。

**答 弁(市長)**  
**建築関係業界をはじめ、都市部の木材関連業者へ積極的にPRを行います。**  
国立競技場に使用される木材が森林認証材となることを受け、「木のまち鹿沼」の林業・木材産業の振興の弾みとするため、森林認証協議会を立ち上げて森林認証取得に取り組み、6月30日付で認証取得となりました。

**質 問**  
新国立競技場やオリンピック・パラリンピック関連施設に鹿沼産認証材が使用されれば、本市の良質な木材が改めてクローズアップされ「木のまち鹿沼」のまちづくりの大きな弾みになります。更に、森林所有者に貴重な資源を生み出す森林の財産価値にもう一度目を向けてもらい、林業・木材産業の振興につながることを期待しています。現在、森林認証協議会において、パンフレットを作成し、今後、建築関係業界を初め、都市部の木材関連業者にも積極的にPRを行っていきたいと考えています。

森林認証とは

森林認証は、森林が適切な管理のもと、環境に配慮した持続可能な経営が行われているか、また、その森林で生産された木材が流通・加工の過程において、適切に分別管理されているかを独立した機関が評価し、認証する制度です。



加藤美智子 議員

地域未来塾について伺う



**質 問**  
鹿沼市における地域未来塾の在り方について伺う。

**答 弁(市長)**  
**学習支援事業を一本化し、対象者を限定せずに実施したいと考えます。**  
地域未来塾は、経済的な理由などにより、学習の遅れがちな子どもを対象に行う学習支援のことで、同様の目的で保健福祉部が行う「生活困窮者自立支援制度」に基づく学習支援事業もあります。平成28年度は現在市内2か所で合計24回実施し、中学生76名と小学生57名が受講しています。課題は、本来の目的

に沿った受講者が少ないこと、市内全域をカバーできていないこと等があります。平成27年度との違いは、保健福祉部との共催事業として実施し、地域未来塾が中学生を、学習支援事業が小学生を対象としたことから、小学生と中学生が同じ会場で利用できるようになりました。来年度は更に開催回数、会場を増やす方向で検討していきます。

今後、地域未来塾を保健福祉部の学習支援事業へ統合し、一本化することにあわせて、生活困窮世帯の子どもがより参加しやすい環境を整えながら対象者を限定せずに実施したいと考えています。



市庁舎建設問題について伺う



質 問

新庁舎整備基本計画の再開の時期及び計画の内容について伺う。

答 弁(市長)

市民の意見を集約しながら、柔軟に検討していきたいと考えます。

建設工事費の高騰が沈静化するまで延期するという考えの見直しですが、市民の意見や社会情勢を考慮しながら、スケジュールを検討し、事業を再開するタイミングを見極めていきたいと考えています。

耐用年数のある新館を残すべきということですが、新館を耐震補強しても近い将来建て替

が必要であるとの理由で、市民を主体とした「鹿沼市庁舎整備検討委員会」から新庁舎一棟に統合し整備することが最適であると答申が出されました。

しかし、熊本地震の教訓を踏まえ、市庁舎を防災拠点として整備する必要性が高まってきており、建設予定地は「現庁舎の位置」、「総事業費60億円以内」、「鹿沼産材を可能な限り使用した『木造木質化の検討』は堅持し、再度、防災拠点としての耐震強度を備えた新館の大規模改修工事も含めて、市民の意見を集約しながら、柔軟に検討していきたいと考えています。



自然災害に対する鹿沼市の取り組みについて伺う



質 問

平成27年9月の関東・東北豪雨災害で被災し、災害認定の再調査を希望する者等に対する救済措置の進捗状況と被災住宅のリフォーム制度の拡充について伺う。

答 弁(市長)

7月6日現在、災害認定再調査の進捗率は92.1%です。

災害認定再調査の申請件数は91件、そのうち7月6日現在、83件が対応済みで進捗率は92.1%です。見直しの結果、新たに半壊となった件数は5件です。残り8件については、現在再調査の日程調整を行っています。

見舞金については、被災当時被災者台帳に掲載された家屋に住んでいた方に対しては災害見舞金を支給することにしました。

次に、被災された住宅のリフォーム制度の拡充ですが、平成27年9月関東・東北豪雨で多くの被害を受けたことから、通常のリフォーム補助と切り離して単独で被災住宅復旧支援事業とし、あわせて制度を見直ししました。今回の災害では更なる支援策として、補助率を100%に、補助の上限を20万円に拡充し、既に申請済みの方に対してもあるかのぼって支援したいと考えています。

「平成27年9月関東・東北豪雨」による被害に対する市の支援制度

(平成27年10月1日時点)

「平成27年9月関東・東北豪雨」による被害に対する市の支援制度の一覧です。

「鹿沼市以外の支援制度についてははこちらをご覧ください。」

鹿沼市の支援制度

- ・被災者に対する見舞金(被災者見舞金) [平成27年10月1日時点] [PDFファイル]
- ・上記のうち、「被災者住宅リフォーム助成金の支給」に関して、詳しくはこちらをご覧ください。
- ・また、こちらが「被災者住宅リフォーム助成金の支給」の申請書です。
- ・上記のうち、「被災者住宅の修繕(1) 修繕費による修繕」に関して、詳しくはこちらをご覧ください。

▲鹿沼市ホームページより

大 貫 毅 議員

子育て支援策の  
充実について伺う



待機児童の状況ですが、平成27年4月ではおらず、希望の施設に入れない保留者は34人、10月の待機児童は53人、保留者10人でした。平成28年4月では待機児童ゼロ人、保留者25人です。今後は、待機児童ゼロを目指して努力していきます。

**質 問**  
待機児童、希望施設に入所できないことによるものも含めての状況及び小規模保育事業の現状と課題について伺う。  
**答 弁**（保健福祉部長）  
現在までに4か所開設し、利用定員68名を確保しました。

次に、小規模保育事業ですが、現在までに4か所開設し、利用定員68名を確保しました。利用状況は7月1日時点で52名です。課題は、認知度が低い点や2歳児クラスまでしか預かれないことにあります。そのため、就学前まで預かることのできる保育園を希望する保護者が多く、年度当初に空きが出てしまう傾向にあります。3歳児になって新しい保育園に移るときは最優先で移れるようにしており、本年4月に保育園に移れなかった児童はゼロ人です。今後はその辺をきちんとアピールしていくようにしていきたいです。



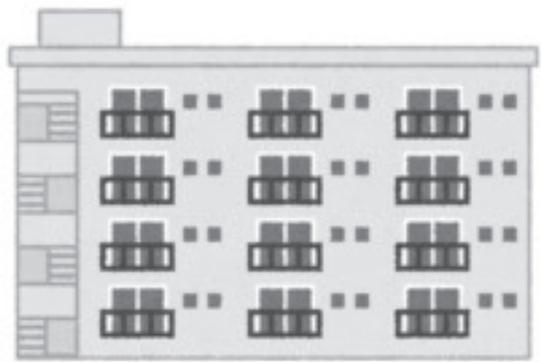
鈴 木 毅 議員

鹿沼市市営住宅への指定管  
理者制度の導入について  
伺う



**質 問**  
指定管理者の資格要件や管理運営方法等について伺う。  
**答 弁**（都市建設部長）  
管理実績のある団体で、かつ宅地建物取引士等の有資格者がいることです。指定管理者が行う主な業務は、「募集に関すること」、「入居・退去に関すること」、「維持修繕に関すること」、「家賃等の徴収に関すること」です。これらの業務が確実に実行されるよう、現在作成中の「指定管理者募集要項」と「指定管理者業務仕様書」の中で、「管理を安定して行える物的能力及び人的能力を有

すること」を管理の基本方針に、「管理業務を行うための事務所設置」や「窓口業務や緊急対応のための職員の配置」を管理体制の確保と規定した上で、資格要件として不動産管理業務において、管理実績のある団体で、かつ宅地建物取引士等の有資格者がいることとしています。また、管理運営方法等については、地方自治法や公営住宅法の規定により「入居の許可」、「家賃の決定」、「滞納家賃の督促業務」、「明け渡し請求等の法的措置」などは委任することができない業務のため、これまで通り市が行います。



障害者福祉について伺う



質 問

肢体不自由児の環境整備において、通学や夜間の一時預かりなど、支援体制への考えを伺う。

答 弁（保健福祉部長）

移動支援事業で、特例により通学時の利用を認めています。

肢体不自由児を教育する特別支援学校は、本市内へのスクールバス運行はしておらず、学校またはスクールバスに乗車できる場所まで保護者が児童生徒を送迎しているのが現状です。特別支援学校は県立学校であり、スクールバス等での送迎は基本的に県が対応すべきと考えています。しかし、保護者の負担軽減のため、移動支援事業で特例により通学時の利用を認めています。

減のため、移動支援事業で特例により通学時の利用を認めています。また、学校からの帰宅については、障がい者福祉サービスの放課後デイサービス等を利用することで、事業者が家まで送迎することも可能です。なお、利用者の個別の具体的な状況に応じて対応するため、障がい福祉課へ相談してください。

夜間の一時預かりについては、支援方法に専門性が高いことから、今後も「こども療育センター」等の事業所と十分に調整を図り、安心してサービスを利用できるように支援していきたいです。



子育て支援事業について伺う



質 問

保育園の送迎について、来年4月1日に民営化される「いぬかい保育園」の場所や規模等及び送迎時の保護者のアクセスについて伺う。

答 弁（保健福祉部長）

交通渋滞の影響を極力緩和するため、2方向からの進入を予定しています。

新設保育園の整備は、「社会福祉法人 彩」が設置・運営を行います。園の名称は「大地の恵みのなーさりい」の予定で、整備する場所は、上石川交差点から榎木方面へ110メートルの地点で、現在地から見て県道6号

線を挟んだ北側になります。規模は、認可定員を現在より45人多い105人で計画しています。

保護者の送迎は上石川交差点付近の渋滞が激しいため、交通渋滞の影響を極力緩和するよう、県道6号線榎木方面からの左折進入と、国道12号から市道780号線を経由する北側、後ろ側からの侵入の2か所を予定しています。2方向からの進入が可能であり保育園にも送迎用駐車場が十分に確保されていることから、渋滞時にも対応できるとの考えられています。今後、問題が生じる場合は、関係機関と十分調整をしていきます。



佐藤 誠 議員

大貫 武男 議員

観光客増加対策について伺う



質 問

本市の観光客増加対策の大きな柱である西北部の古峰ヶ原から石裂山、横根山の山並みにおける対策強化について伺う。

答 弁（経済部長）

効率的に西北部の観光資源へ誘導できるような対応していきます。

西北部の山並は、本市の誇る観光資源であり、この数年間、横根の井戸湿原や寄栗の大滝遊歩道の整備に取り組んできました。更に、久我の石裂山、入粟野の尾鑿山、井戸湿原、古峰ヶ原高原などの総合案内看板や古峯神社・横根山・前日光つつし

の湯交流館などを周遊できるような道路案内看板も整備してきました。今後はユネスコ登録後の観光客増加に対応するための案内看板など、他の地域の状況や財源を検討しながら、効率的に西北部の観光資源へ誘導できるような対応していきます。

現在、JR鹿沼駅、東武新鹿沼駅には目的地とバス路線図を案内する看板が設置されています。特に、初めて本市を訪れる観光客にはわかりづらい部分があると認識しています。このため、観光地と停留所を関連付け、見やすい工夫をした看板を課題の整理を踏まえて検討していきます。

「住みよさランキング」の政策目標としての採用について伺う



質 問

「住みよさランキング」の政策目標としての採用について伺う。

答 弁（総務部長）

市政運営の指標とすることは考えていません。

住みよさランキングは、東洋経済新報社の「都市データパックス」で毎年公表されている、公的統計等の15の指標をもとに、全国の市及び特別区をランキングしたものです。このような雑誌等が発表しているランキングは、指標の選定方法や集計方法が様々であるため、各自治体の本来のポテンシャルをそのまま表しているとは言えないと考え、

市政運営の指標とすることは考えていません。本市では、国勢調査や経済センサスなど、各種統計における数値等の個別データを総合計画における施策の評価目標として活用しています。また、市独自の世論調査で市民の意識を調査し、状況を経年変化も含めて分析しており、既にある程度の独自指標は設定していると考えています。

第7次総合計画では、既に確立した手法を用いて、施策や事業の客観的データによる評価や、世論調査等を活用し目標を定めていきたいと考えています。



▲JR鹿沼駅前



▲東武新鹿沼駅前



# 議員の賛否を公表

市長提出議案17件、議員提出議案 1 件が提出されました。  
議員数24名、表決参加議員数23名（議長は表決には加わりません。）

## 賛否の分かれた議案

### 議案59 鹿沼市副市長の選任について

本市副市長松山裕氏が平成28年7月31日をもって任期満了となるので、引き続き同氏を選任するためのものです。  
(12ページをご覧ください。)



賛成

【公明党】 荒井正行・鈴木敏雄  
【自民党】 鈴木 毅・市田 登・谷中恵子・津久井健吉・増淵靖弘・赤坂日出男・橋本正男  
【経世会】 館野裕昭・小島 実・湯澤英之・関口正一  
【民進党】 島田一衛・大貫 毅  
【無所属市民クラブ】 大島久幸・大貫武男・船生哲夫  
【日本共産党】 阿部秀実  
【無所属】 石川さやか・加藤美智子・佐藤 誠

反対

【自民党】 鰐原一男

## 全議員が賛成した議案（可決）

決算

議案1 平成27年度鹿沼市水道事業会計決算の認定  
(14ページをご覧ください。)

専決処分事項(平成27年度補正予算)

議案43 平成27年度鹿沼市一般会計補正予算(第6号)  
補正額を987,894千円の減とし、予算総額を450億5,054万7千円とします。

議案44 平成27年度鹿沼市公共下水道事業費特別会計補正予算(第3号)  
補正額を114万5千円の増とし、予算総額を24億7,734万2千円とします。

議案45 平成27年度鹿沼市農業集落排水事業費特別会計補正予算(第4号)  
補正額を4,049万6千円の減とし、予算総額を2億2,849万6千円とします。

専決処分事項(条例の一部改正)

議案46 鹿沼市税条例の一部改正  
地方税法等の一部改正に伴い、固定資産税の非課税措置が適用される固定資産の明確化、固定資産税の減額措置に係る申告書の記載事項の追加等を行うためのものです。

議案47 鹿沼市都市計画税条例の一部改正  
地方税法の一部改正に伴い、引用する同法の条項を整理するためのものです。

議案48 鹿沼市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の一部改正  
行政不服審査法の施行前に公示等がされた固定資産の評価額に係る審査の申出について、改正前の鹿沼市固定資産評価審査委員会条例の規定を適用する旨を明確にするためのものです。

議案49 鹿沼市国民健康保険税条例の一部改正  
地方税法施行令の一部改正に伴い、低所得世帯に対する国民健康保険税の減額措置が適用される納税義務者の範囲を拡大するためのものです。

剰余金

議案50 平成27年度鹿沼市水道事業会計未処分利益剰余金の処分  
未処分利益剰余金5億6,435万1,136円のうち、1千万円を減債積立金に1千万円を利益積立金に、2億6,159万9,713円を建設改良積立金にそれぞれ積み立てるとともに、2億8,275万1,423円を資本金に組み入れるためのものです。

その他

議案51 損害賠償の額の決定及び和解  
損害賠償額の額100万4,075円を支払い、和解するためのものです。

議案52 工事請負契約の締結  
鹿沼市立北押原中学校屋内運動場改築工事(建設工事)の本契約を締結するためのものです。

条例の一部改正

議案53 鹿沼市手数料条例の一部改正  
建築物エネルギー消費性能向上計画の認定等に要する手数料の額を定めるためのものです。

議案54 鹿沼市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正  
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、小規模保育事業所A型及び保育所型事業所内保育事業所において配置しなければならない保育士の数を緩和するためのものです。

議案55 鹿沼市市営住宅条例等の一部改正  
平成29年度から市営住宅、市営従業員用住宅及び市営若年勤労者用住宅に指定管理者制度を導入するためのものです。

人事

議案56 人権擁護委員候補者の推薦  
(12ページをご覧ください。)

議案57 人権擁護委員候補者の推薦  
(12ページをご覧ください。)

議案58 鹿沼市固定資産評価審査委員会委員の選任  
(12ページをご覧ください。)

議員提出議案

議員案3 川の日を国民の祝日に定めることを求める意見書の提出について  
(14ページをご覧ください。)



鹿沼市や私たちの暮らしに関係することが議会で決定しました！

～安全で安心な水をお届け～

## 水道の決算を公表します

### ■認定第1号 平成27年度鹿沼市水道企業会計決算の認定について

平成27年度の水道事業は、建設改良事業において新設・老朽管の布設替えを含め、延長1万1994.2mの配水管布設で4億7,729万5,200円を支出し、建設改良費総額では7億8,691万7,497円の支出でした。また、年度末の給水人口は8万225人で前年度比0.9%の増となり、年間給水量は908万1,013㎥で、前年度比0.2%の減となりました。

今後も拡張事業や各種建設工事改良を進めながら、引き続き効果的な事業運営と経費の節減に努め、事業運営の健全化を推進するとともに、良質で安全な水の安定供給に努め、市民福祉の増進を企業目標として努力していきます。



～学校環境の整備～

## 北押原中学校屋内運動場を建て替えます

### ■議案第52号 工事請負契約の締結について

鹿沼市立北押原中学校屋内運動場改築工事（建築工事）の事後審査型条件付き一般競争入札を去る5月30日に行い、その結果、佐野屋建設株式会社が3億4,668万円で落札したので、本契約を締結します。

※右の写真は、現在の北押原中学校体育館です。



～川の恩恵に感謝する記念日～

## “川の日を国民の祝日に”意見書の提出を可決しました

### ■議員案第3号 川の日を国民の祝日に定めることを求める意見書の提出について

「川の日」を川の恩恵を享受していることに感謝する日、身近な川と遊び親しみ、自然の大切さを学び、そして一人一人が川の大切さを考え直すきっかけの日となるよう、国民の祝日に制定することを強く求める意見書を鹿沼市議会から関係機関に送付しました。



## 予算委員会からの報告

～議会の全体意志として決定～

## 平成29年度予算要望書を提出しました

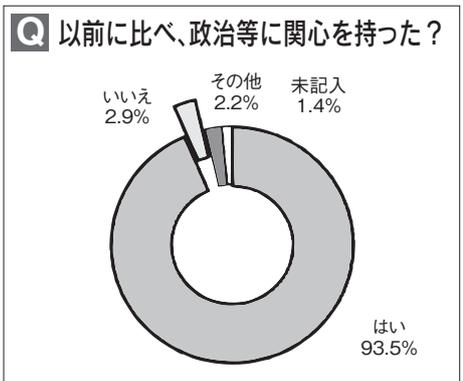
現在、市では鹿沼市総合計画及びひと・まち・しごと創生鹿沼市総合戦略に基づき、地域経済の活性化、移住定住の促進、子育て支援の充実等の施策を計画的・効果的に推進しているところですが、さらに市民が希望に満ちた生活を実感できるよう、効果的な予算編成を行うとともに、要望書に位置付けた11事業の予算確保を要望しました。



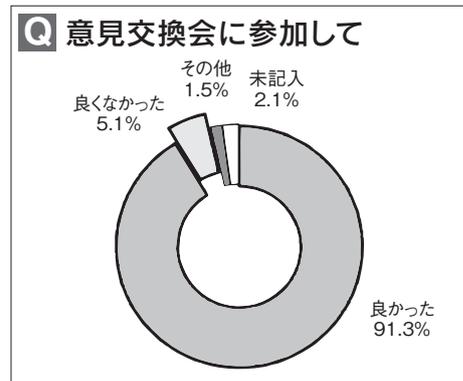
# 活かす

## 高校生の「声」を聴いて

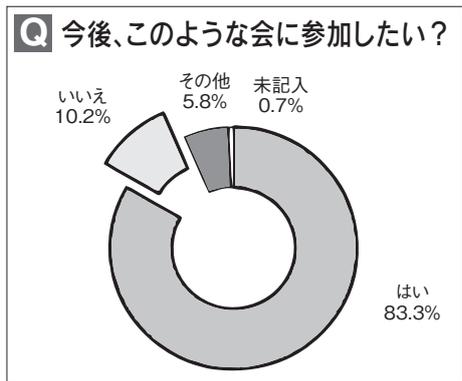
議会報告会・意見交換会に参加された高校生にアンケートを行いました。  
みなさんの「意見」を今後の課題としていきます。



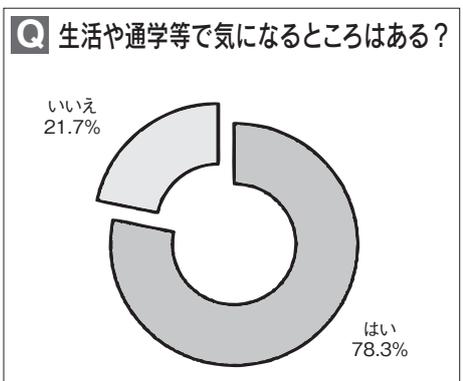
参加する以前より、政治や市議会に関心が持てるようになった方が129人でした。



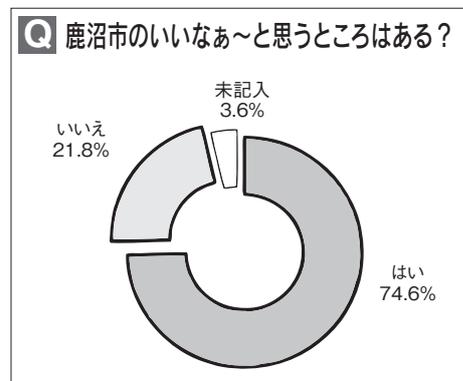
自分の意見を言ったり、他の人の意見を聞くことができ良かったという意見が多数でした。



「意見が実現するなら参加したい」など積極的な意見の他に、「話の内容に印象がなく記憶に残らなかった」との厳しい意見もありました。

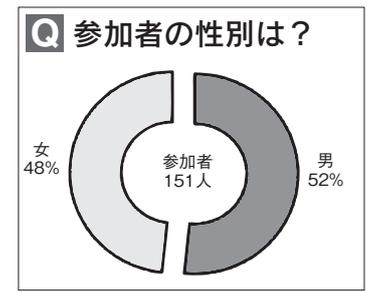
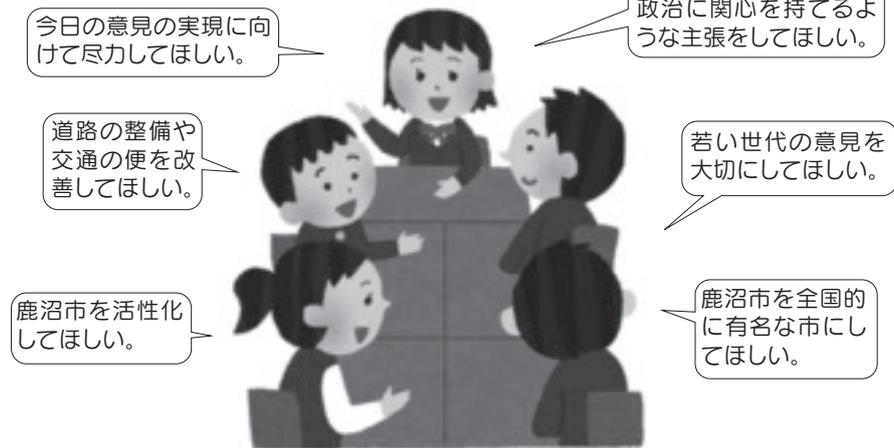


7割以上の方が鹿沼市の自然が豊かなところやイベントが多いところを良いと挙げていますが、同じく7割以上が生活や通学で道路整備や交通の便の悪さに対して不便を感じているようです。

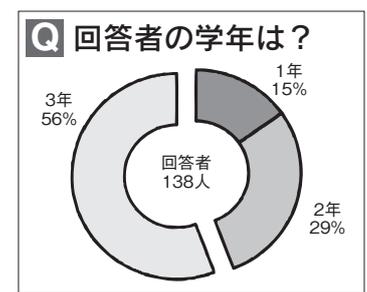


7割以上の方が鹿沼市の自然が豊かなところやイベントが多いところを良いと挙げていますが、同じく7割以上が生活や通学で道路整備や交通の便の悪さに対して不便を感じているようです。

**Q 市議会や議員に期待することは？**



男子が78人、女子が73人、合計151人が参加してくれました。



高校1年生21名、2年生40名、3年生77名、合計138名が回答してくれました。

アンケートのご協力有難うございました！

議会からの **お知らせ****全国市議会議長会から表彰**

全国市議会議長会から、長年の市政発展に貢献した功績により表彰されました。



小島 実 議員

**議員10年表彰**

横尾 武男 議員

**インターンシップを受け入れました！**

7月5日(火)～8日(金)の4日間、栃木県立鹿沼商工高等学校のインターンシップ実習生を受け入れました。実習生2人は、会議録作成等の事務作業を体験しました。



会議録作成などの事務作業をしていて、学校の勉強が大切なことに気がきました。また、作業を進めていくうちに、議会や議員を身近に感じることができました。

**議会カレンダー ～議会を傍聴しませんか～**

11月	12月						
月	火	水	木	金	土	日	
11/21	22	23	24	25	26	27	
10:00 議会運営委員会							
28	29	30	12/1	2	3	4	
10:00 本会議(第1日) 提出議案の説明							
5	6	7	8	9	10	11	
		9:00 議会運営委員会 10:00 本会議(第2日) 議案質疑・一般質問	10:00 本会議(第3日) 議案質疑・一般質問	10:00 本会議(第4日) 議案質疑・一般質問			
12	13	14	15	16	17	18	
		10:00 総務常任委員会 環境経済常任委員会	10:00 文教民生常任委員会 建設水道常任委員会				
19	20	21	22	23	24	25	
10:00 本会議(第5日) 採決							

※なお、正式な日程は議会運営委員会で決定します。詳細は議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。(電話63-2203)

**監査委員の辞職**

平成28年4月15日付で、鰐原一男議員から監査委員退職届が提出され、市長がこれを許可しました。

**監査委員の選任**

6月3日に開催された平成28年第2回臨時会で、議会選出の監査委員に湯澤英之議員を選任することに全会一致で同意しました。(議案第42号)



監査委員 湯澤 英之

**表紙の写真は**

7月4日に議場コンサートを開催しました。演奏はオカリーナを愛好する市民で結成されたグループ「アミーチ・オカリーナ」の皆さんです。「花祭り」を始め5曲を演奏していただきました。議場に可憐な音色が響き渡りました。